

米前の軍拡首相表明

日米首脳会談、バイデン氏が歓迎

岸田文雄首相は21日夜、バイデン米大統領とのテレビ会談を行いました。両首脳は日米同盟の抑止力・対処力を一層強化することを致しました。岸田首相は、「国家安全保障戦略、防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画を策定する」とで「日本の防衛力を抜本的に強化する」と表明。空前の大軍拡に前のめりの姿勢を示しました。

相は補正予算と本予算を合わせて軍事費を8%増額し、は歓迎し支持を表明し、「防衛分野における投資を今後も持続させる」と述べるなど、歯止めのない軍拡の危険な動きが示されました。

相は補正予算と本予算を合わせて軍事費を8%増額し、は歓迎し支持を表明し、「防衛分野における投資を今後も持続させる」と述べるなど、歯止めのない軍拡の危険な動きが示されました。

相は補正予算と本予算を合わせて軍事費を8%増額し、は歓迎し支持を表明し、「防衛分野における投資を今後も持続させる」と述べるなど、歯止めのない軍拡の危険な動きが示されました。

経済安全保障やインフラ投資などを外務・経産担当閣僚が協議する日米経済政策協議委員会(経済版「2+2」)ラス2)を新設する「2+2」会意。「経済版2+2」は日本側が外相と経済産業相、米側は国務長官と商務長官がメンバーとなり、サプライチェーン(供給網)強化や先端技術の流出防止、北朝鮮への対応に関しては、日米韓の連携を強調しました。

在日米軍基地で新型コロナ感染が爆発的に蔓延している問題で、両首脳は感染拡大防止での協力に言及したが、日本政府の権限下で米軍の出入国管理や検疫を可能にするための日シナ海をめぐり、中国に對し大統領は就任以来、初来日となりました。

ホワイトハウス担当の記者団がいる、岸田首